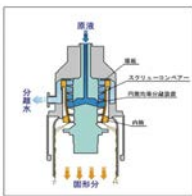


1 技術概要

整理番号	T-00058
技術名称	セシウム吸着水中懸濁物除去
申請機関名	株式会社CMS
技術の概要	汚染水の主たる放射エネルギーとなっている、セシウムを吸着した粘土系物質などの数ミクロン以下の微細懸濁物を水中から除去し水を浄化する技術。 汚染水中のセシウムはセシウムイオンではなく、それを吸着した天然土壌に存在する粘土系物質として存在し、その微細な数ミクロン以下の粒子が懸濁物として存在している。 この懸濁物のサイズは数ミクロン以下の場合が多く、従来の装置ではその技術的下限以下であり、濾過や凝集沈殿の手法では、発生物の含水量が高く二次処理を必要とする。 それに対して、この技術は、 1)10ミクロン以下の懸濁物質を、SS除去率；99% 2)含水率の極めて低い発生物 含水率；20～35% として取り出す技術である。 この装置は構造的工夫をすることにより静寂な運転環境で実現できるようにしたものであり、高性能の微細懸濁物の分離と、驚異的な脱水が可能になっている。また、この装置の最小装置は、トラックに可載できる重量と大きさであり、現地に容易に持ち込んで処理することができる。 分離・脱水解説図  1. 内筒とスクローが同一方向に僅かな回転差をつけて回転します。 2. 原料は上部から投入し、中間で360度方向に回転され、固形物は内筒の内側に付着し、液体は上昇して、上部より外部へ排出されます。 3. 内筒に付着した固形物はスクローで連続的に下方へ排出されます。 4. 下方は解凍となっていますので、閉塞する事なく無人で、連続運転が出来ます。 分離・脱水解説図
技術の優位性	1)10ミクロン以下の水中の含セシウム懸濁物質を除去出来る。 2)除去した懸濁物質を脱水状態で連続的に取り出せる。 3)高速、連続処理ができる。 4)トラックで可搬でき、現場で浄化処理ができる。 5)振動、騒音などが少なく、周辺に影響を与えない。 6)脱水汚泥の含水率が低い。 脱水の流れ  脱水の流れ
注意点	全て自動運転のため、特になし。
研究・実用化段階	実用化段階
今後の開発計画	
特許	固液分離装置 平成23年3月18日取得
参考サイト	株式会社CMSホームページ
補足資料	
備考	

2 実証試験の概要及び結果

実証期間	
実証場所	
実証内容	
技術適用の効果	
作業員被ばく評価、作業における安全上の注意	
コスト評価	

3 現場における適用実績

適用実績	
------	--

4 専門家評価

専門家評価結果	
---------	--

5 連絡先

機関名	株式会社 C M S
部署名	営業部
電話番号	048-761-2267
所在地	344-0057 埼玉県春日部市南栄町11-7

6 その他

検索用キーワード	固液分離、脱水、分級、濾過、SS回収
登録日	2014年6月9日
最終更新日	2014年9月5日